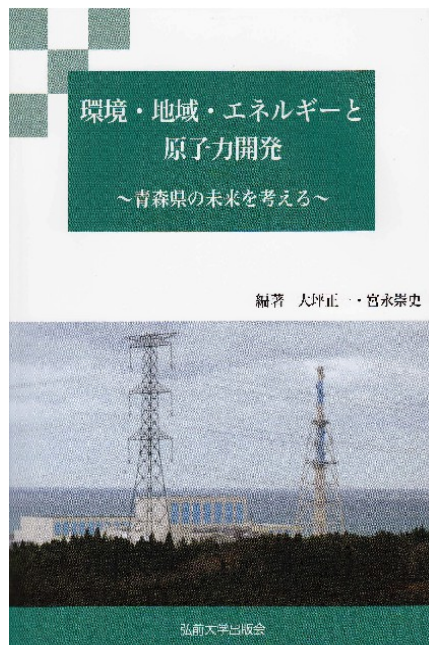


新刊書案内

環境・地域・エネルギーと原子力開発 ～青森県の未来を考える～



目次

- 第1章 青森県・下北半島「原子力半島」化の歴史と現状
- 第2章 放射能，原発，事故，再処理
- 第3章 内部被曝について～放射能科学の歴史から紐解く～
- 第4章 下北半島の地質環境
- 第5章 青森県の経済と核燃マネー
- 第6章 核燃反対運動と青森県の地域づくり
- 第7章 原子力神話から自然エネルギーの未来へ

編著者：大坪正一（弘前大学教育学部教授）
宮永崇史（弘前大学理工学部教授）

判型・頁数：A5判 167頁

ISBN：978-4-907192-06-8

発行：2013年10月1日

価格：1,470円（本体価格：1,400円）（送料別）

本書は、弘前大学21世紀教育（教養教育）で開設されている講義「環境との共生(D)」を基礎に、学生および市民の学習用テキストとして編集された。この講義は、東日本大震災直前の2010年後期から始まったが、青森県の経済、歴史、地域社会などを学び、原子力開発や自然エネルギー開発を取り上げ、青森県の未来を考えるというものである。福島第一原発事故以降は、日本の原子力政策と地域との関わりが鋭く問われているので、青森県に限らず同様の問題を抱える地域でも、環境、地域、エネルギー、原子力開発をトータルにとらえることは、重要な課題となっている。本書は、自然科学、社会科学を問わず幅広い研究領域によって構成されており、環境との共生という視点から、原子力開発問題を学際的に学べる内容となっている。

ご注文は弘前大学生協へご連絡願います。

<https://www.u-coop.or.jp/hirosaki/shopping/book/>

TEL：0172-33-3742

FAX：0172-33-8973

（弘前大学生協）